

「5年で見えるみちづくり」ホームページ概要

東北地方整備局道路部のホームページは URL : <http://www.thr.mlit.go.jp/road/>

“「東北の道路」総合情報サイト” から “5年で見えるみちづくり” へ

郡山国道事務所のホームページは URL : <http://www.thr.mlit.go.jp/koriyama/>

「関連リンク」から「5年で見えるみちづくり」バナーへ



「5年で見えるみちづくり」とは

東北地方整備局では、平成16年度～平成20年度の5年間の東北地方の道路事業の成果目標や供用目標など“5年後の姿を宣言”した『「5年で見えるみちづくり」～東北のみちサービス・レベルアッププラン～』を策定しました。

この計画に基づき、毎年の進捗管理を徹底し、より効果的、効率的で透明性の高いみちづくりを進めてまいります。

計画のダウンロード

- 「5年で見えるみちづくり」PDFダウンロード
- 一括ダウンロード
- 現状と概要
- 基本方針
- 成果目標
- 成果目標・進捗・効果のあらまし
- 主な道路事業
 - 地区のみ>>>青森 岩手 宮城 秋田 山形 福島
 - 主なソフト施策
 - 成果目標の定義

計画の特徴

東北のみちサービス「成果目標」を宣言!

- 21項目の成果目標を掲げ、5年後の姿を宣言しました。
- 成果目標の例
 - 渋滞ポイント箇所数 183箇所→133箇所 **50箇所を解消**
 - 道路渋滞による一人あたりの年間損失時間 33時間/年→29時間/年 **4時間/年を削減**
- 成果目標の一覧がPDFでご覧いただけます>>> [成果目標](#)

主要事業の供用目標を宣言!

- 成果につながる施策・事業を重点的に整備します。
- 宣言された目標に向けて進捗管理を徹底し、整備効果の早期発現を目指します。
- 事業一覧>>>青森 岩手 宮城 秋田 山形 福島 地区から>>>青森 岩手 宮城 秋田 山形 福島

ソフト施策を進めます!

- 道路の整備だけに頼らず、高速道路の利用促進や路上工事の削減など、今ある道路を有効に「つかる」施策を進めます。
- >> 5年間の主なソフト施策

ソフト施策の一覧

東北のみちサービスの目標を達成するための5年間の主なソフト施策

No.	施策名	実施対象	実施内容	効果の概要	実施期間	実施時期
1	東北のみちサービスの目標を達成するための5年間の主なソフト施策	日本道東北	「東北のみちサービス」の推進 - 各都府県との連携の強化 - システム、改善、入浴等 - 地域活性化への支援 - 一般社員・若手育成と宮城 県民生活への広報活動等	「5年で見えるみちづくり」の推進による - 高速道路の利用率の向上 - 地域活性化の促進	岩手県観光協会 秋田県観光協会 山形県観光協会 福島県観光協会 青森県観光協会 宮城県観光協会 岩手県観光協会 秋田県観光協会 山形県観光協会 福島県観光協会 青森県観光協会	H16～ H20年度 H16年度 H17年度 H18年度 H19年度 H20年度
2	東北のみちサービスの目標を達成するための5年間の主なソフト施策	日本道東北	「東北のみちサービス」の推進 - 各都府県との連携の強化 - システム、改善、入浴等 - 地域活性化への支援 - 一般社員・若手育成と宮城 県民生活への広報活動等	「5年で見えるみちづくり」の推進による - 高速道路の利用率の向上 - 地域活性化の促進	岩手県観光協会 秋田県観光協会 山形県観光協会 福島県観光協会 青森県観光協会 宮城県観光協会 岩手県観光協会 秋田県観光協会 山形県観光協会 福島県観光協会 青森県観光協会	H16～ H20年度 H16年度 H17年度 H18年度 H19年度 H20年度

取り組みの概要を紹介

岩城ICで降りると割引特典

渋滞なしで一気に!

道路事業100箇所

一覧表、地図から詳細なページへ

No.	路線名	区間	延長 (km)	事業内容	実施年度	実施時期	効果の概要
1	国道4号 郡山西環状道路	郡山西環状道路 (G主立環状)	1.5	郡山西環状道路 (G主立環状)	H18年度 (計生高深)	H18年度 (計生高深)	「主要流通ポイント(合新交差点)」の渋滞解消 - 高速道路併走へのアクセス強化による地域経済活性化 - 緊急輸送道路としての輸送時間短縮、東北道へのアクセス向上
2	国道121号	岩手県北道路 (L主立環状)	3.2	岩手県北道路 (L主立環状)	H19年度 (2車線供用)	H19年度 (2車線供用)	「岩手県北道路」の渋滞解消 - 高速道路併走へのアクセス強化による地域経済活性化 - 「主要流通ポイント(モトロー交差点)」の渋滞解消

地図からさがす

事業箇所の詳しい内容へ

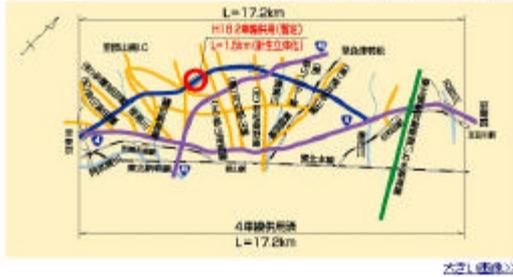


福島県

国道4号 郡山バイパス

平成18年度を目標に、郡山市大槻町～台新一丁目の区間、延長1.5kmについて針生高架橋の完成を目指します！

※この事業は郡山国道事務所が実施しています

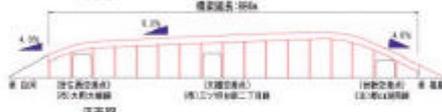


大槻1丁目交差点

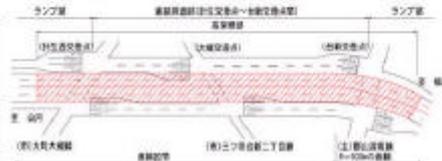
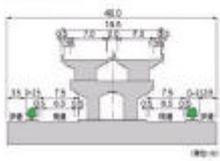
東北の玄関口とも言える郡山市では、交通量の増大に伴う渋滞の問題とがっていました。そのため、市街地を通過する交通の通り抜けが妨げられるため、郡山バイパスが計画され、整備されています。平成14年度には、十貫内交差点の立体化を含む全線4車線供用を図っています。平成16年度は、主要渋滞ポイントの台新交差点を含む針生地区の立体化を推進します。

針生高架橋（仮称）

縦断面図



立体部横断面図



箇所名	区間	供用延長 (km)	H16～H20の整備目標
郡山バイパス (針生立体化)	郡山市大槻町～台新一丁目	1.5	H18年度 針生高架橋 2車線供用(暫定)

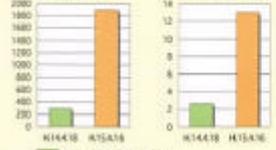
現状の問題・課題

針生地区の渋滞調査結果 (台新交差点)

全線4車線整備により、平面交差点3箇所が連続している針生地区においては、渋滞の悪化が懸念されるため、台新交差点を含む「針生地区の立体化」が必要となっています。

針生地区の渋滞調査結果 (台新交差点)

(渋滞長の長さ(m))



期待される整備効果など

- ◆主要渋滞ポイント「台新交差点」の渋滞解消
- ◆高速交通体系へのアクセス強化による地域経済活性化
- ◆緊急輸送道路としての輸送時間短縮、車北道へのアクセス向上

完成予想イメージなど



針生地区立体化完成予想図 (福島県側から白河方面を望む)



針生高架橋(仮称)完成予想図

事業箇所のページ (例)

今後5年間で実施する主要な道路事業 100箇所について、供用目標や必要性、整備効果などをお伝えするページです。

ホームページの内容は、最新の情報やより詳しい内容に随時更新して参ります。

事業概要、供用目標など

事業の概要や供用目標、供用区間などをお知らせしています。

現状の問題・課題

現在どういう問題が生じているのか、何のために事業を行っているのかをお知らせしています。

期待される整備効果など

事業が完成するとどういう効果があるのか、どういう風になるのかをお知らせしています。

完成予想イメージなど

事業中の写真、航空写真や完成予想イメージ(パース)などを掲載しています。